高松市次期ごみ処理施設整備基本計画の一部見直し（令和６年１２月）

ページ番号	項目	見直し前	見直し後	見直しの理由
26	4　施設規模の設定	施設規模　452t/日（焼却）	施設規模　510t/日程度（焼却） ※現時点で想定される最大値	令和６年度にごみ排出量（将来推計値）を見直した結果、１５年度（計画目標年度）のごみ排出量が当初の想定よりも多かったため
35	3　処理生成物に係る基準値の設定 (1)処理生成物のダイオキシン類含有量	ダイオキシン類特別対策措置法及び南部 CC 基準値に基づき、処理生成物のダイオキシン類含有量を表 4-11 に示す基準値以下とします。	処理生成物のダイオキシン類含有量は、ダイオキシン類特別対策措置法等の法令の基準値以下とします。	近年の社会情勢や他都市の事例等を踏まえると、法令に基づく基準値を公害防止基準値と設定することが妥当と考えられるため
37	1　概要	破砕・資源化施設を改造・延命化する。	破砕施設は新設し、資源化施設は当初の計画どおり延命化する。	・より広いプラットホームが必要であるため ・火災リスクに対応するため、手選別ライン拡充、火災検知、消化能力増強が必要であるため
38	2 (4)　施設規模	破砕対象　　46t/日 資源化対象　23t/日	破砕対象　　70t/日程度 資源化対象　28t/日程度 ※現時点で想定される最大値	令和６年度にごみ排出量（将来推計値）を見直した結果、１５年度（計画目標年度）のごみ排出量が当初の想定よりも多かったため
40	2　検討対象とするごみ処理方式	焼却方式 ・ストーカ式ごみ焼却方式 ・流動床式ごみ焼却方式 溶融方式 ・シャフト式ガス化溶融方式 ・流動床式ガス化溶融方式	焼却方式 ・ストーカ式ごみ焼却方式 溶融方式 ・シャフト式ガス化溶融方式	令和６年度に実施したプラントメーカーへの入札参加意向調査の結果、4 方式のうち 2 方式については、参加の意向を示すプラントメーカーがなかったため。